

万民ニュース

MANMIN NEWS

第83号 2010年 1月 17日 新年特集号

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org/Japanese

イ・ジェロク牧師、2010年教会ビジョン宣言

「4大ビジョン」をもって「第3の跳躍期」始まる



「万民中央教会は開拓から1999年までを第1期、2000年から2009年までを第2期として、リバイバルにリバイバルを重ねました。2010年からは第3の跳躍期に入り、今まで聖徒たちが蒔いて行ったすべてを複合的に刈り取るようになるでしょう。」

堂会長イ・ジェロク牧師は昨年12月27日、本聖殿で開かれた事務総会で、第3の跳躍期の元年になる2010年、万民中央教会が実現すべき4大ビジョンを発表した。それは、霊の流れ(申命記28:1)、信仰の量り(第一ヨハネ2:12-14)、父の喜ばれる聖殿(マタイ21:12-13)、とどめられない神の力(ヨシヤ記10:12-14)である。

第一の「霊の流れ」とは「この教会に向けられた神の摂理に国内外情勢の流れが合わさって、神の公義に従って正確な時点に実として現れる」という

ことである。世界には戦争と飢きん、地震が絶えないし、自国の利益だけを追求していく。韓国も決して楽でない道を行くしかないが、このような中で、万民中央教会は北朝鮮宣教とカナン聖殿、大聖殿建築の基盤を固めて神の摂理を実現し、地のすべての国々の上に高く上げられた教会になるであろう。

第二の「信仰の量り」は「自分の信仰を正確に量って、自分に欠けているところを悟り、神が各人に望まれる信仰にならなければならない」ということである。そのためには否定的な言葉を口に出さず、自分の義と杖を打ち砕いて、信仰を成長させるために祈って、恵みに報いる行いを見せ、善の行いを積んでいけば、誰でも信仰の三段階以上、さらには全き信仰までも所有できる。

第三の「父の喜ばれる聖殿」

と関連して、主のしもべと教会職員の聖潔が強調された。神が受けられるのは建物でなく、聖殿を作り上げる聖徒の心の香であるからだ。したがって、新年は全聖徒が肉の性質を捨てて、一つの心で火のように祈らなければならない。また、聖徒たちが聖められたほど、神の備えられたカナン聖殿、大聖殿が目に見えるようになるだろう。

第四の「とどめられない神の力」とは、人が想像する以上の神の力あるわざがとどめられないほど現れて、持続的に体験するようになるということだ。イエス様の弟子たちも、伴うしるしによってみことばを確かなものとしたように、神の力は福音を伝える際に非常に重要である。今年1年、神は以前より大きい力をこの教会に繰り広げられて、数え切れない魂が救われるように働かれるであろう。

イ牧師は新旧送迎礼拝と新年初めての主日礼拝で、「2010年は第3の跳躍期の始めであり、刈り取る年だから、

全聖徒が新しく変えられて、霊の流れに乗って器を備え、複合的な祝福を本格的に受けるよう願う」と語った。

「すみやかに聖められて、神の力を受けるように」 2010年度仕事始め式

ソウルは新年早々、1937年の積雪観測以来、最大の雪が降った。全世界を覆った白い雪のように、聖められた子どもを切に探しておられる神の心が感じられた。

今年1月4日、午前10時、本聖殿で「2010年度仕事始め式」が国内外の教職者と職員など595人が参加して行われた。堂会長イ・ジェロク牧師は「使徒の働き1章8節」を本文に「世界各地で神の力を慕っている。すみやかに聖められ

て、火のように祈り、神の力を受けなければならない」と語った。

昨年12月31日にあった仕事納め式では、〈申命記28章〉を参加者とともに交読し、1年間、神が下さった祝福に感謝した。

この日、イ牧師は「2010年に複合的な祝福の主人公になるために、善、八つの幸い、愛の章、御霊の実などのみことばに照らして、自分を顧みるように」と語った。

新しくしてください

「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れなければなりません。」(ルカ5:38)

「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れなければならない」とは、すべての真理に逆らう思いや知識など、以前の古い生活を捨てて心を新しくし、イエス様の新しいみことばを受けなさいという意味です。

待望の2010年を迎えて、誰もが使命をよく果たして御霊の人に愛えられようと、心が熱いでしょう。多くの人が使命を受けるとき、「私のような人にどうしてこんな祝福を下さったのでしょうか。心と思い、力を尽くして忠実に仕えます」と決意を固めます。それでは、初めて持った熱い心が変わることなく、新しい心で新年を過ごすためには、どういう姿勢が必要でしょうか？

第一に、真実でなければなりません

炎のような御目ですべてを探られる神は人の心の奥までご存じです。しかし、神を信じているといいながらも、真実の心にならなければ、神を欺こうとすることがあります。初代教会の時代、ペテロを欺いたアナニヤとサツピラ夫婦がそうでした。持ち物をすべて売って神にささげようとしたなら、自分なりに信仰があるという人々です。それなのに、欲が心に入り込み、思わず神の力を行うしるべを欺いてしまいます。これは神を欺いたのと同じですから、結局救われませんでした(使徒5:1-11)。

今日も同じです。心が真実でなければ、神の御前で偽りを行うことがあります。慕っていないのに慕っているふり、信仰がないのにあるふりをして、偽善を行うことがあります。自分が偽善を行っていることが悟れなくて、忠実な働き人と思えます。時には、自分の功を立てるために神の国に役に立たないことを推進したりします。また、誰かが見ている時は忠実であり、ひとりである時はそうでありません。これはすでに真実とはかけ離れているのです。〈エペソ5:9〉に「——光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです——」とあるとおり、神を愛して忠実に仕え、真実の実を持って神の御前に大胆に立つことができますように。

第二に、仕えがなければなりません



堂会長イ・ジェロク牧師

仕えとは、自分を犠牲にすることです。仕えるためには、自分の時間と物質と努力を注いで、犠牲になることが多いからです。ところが、行いで犠牲になることも大切ですが、さらに大切なのは相手を思いやる心です。たとえば、他の人の願いを聞いてあげながらも、終始表情はこぼぼぼと返事も無愛想だとします。それでは相手が顔色を見るだけでなく、「私は面倒なことを頼んだようだ」と思うと、次にはお願いしようか迷います。この場合、いくら良くしてあげても、「仕えた」とは言えず、むしろ怖く感じられます。このように自分のひと言、表情一つ一つを、みな「仕え」という基準から顧みなければなりません。

また、互いにどれほど愛で仕えているか顧みなければなりません。たとえば、掃除もそうです。教会にはいろいろな人が一緒に使うトイレや廊下、階段などがあります。ある人は、誰かがさせなくても、自分の事のように見回って掃除します。一方、ある人はいくらトイレが汚くても、気を遣いません。しかし、神は誰が教会を愛して、周りの人に心から仕えているのか、一つ一つ見ておられます。ある人は、その人の使命でないことを任せると、「私の使命でもないのに、なぜこんなことまでしなければならぬのか？」とつくづく思います。このように不満をもって働いたとすれば、たとえ行いでは仕えたとしても、報いを受けることができません。

世では結果だけ出せば認められます。しかし、主にあつての働きは、信仰と愛でする時こそ天国の報いになります。世では、お金を受け取った

分、自分の仕事だけすればよいのですが、教会では務めに当たるだけでなく、神の働きが全部自分の仕事です。世では、低い人が仕えて、高い人が仕えられます。しかし、神は仕える者が偉い者だと言われます。心から仕える時に偉い者になり、この地上でも人々から尊ばれて、天国でも大きい栄光を受けるのです。

第三に、行いがなければなりません

神のみことばを聞き流してしまわずに、守り行わなければならないのです。〈ローマ2:13〉に「それは、律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法を行う者が正しいと認められるからです。」とあります。もちろん、初めから真理のとおりだけ行うことはできません。しかし、みことばどおり生きるために、休まず努力していかなければなりません。神がその努力をご覧になって、聖められた御霊の人に変えられる恵みと力を下さいます。

初めて使命を受けた時は、使命を果たすために必ず聖められようと心を固めたでしょう。ところが、信仰歴が積まれて、務めが高くなるにつれて、心の割礼をしようという切なる心が冷めます。ひどく悪を行ったり、平和を破ったりすることはありませんが、悪をおおっておきます。真理を聞いて頭でわかるので、自分を抑えるのです。すべき事をして、いなければならぬ所にいます。しかし、礼拝と祈禱会に習慣的に参加していたり、やむをえずそこに座っていたりしていませんか？ そのような状態が続けば、信仰が停滞して聖霊に満たされなくなるので、まかり間違えば、救われるのが難しい肉の行いを犯したりもします。神の力を生活の中で直接体験する信仰生活をしていながら、ただ救いの問題に悶々としていてよいでしょうか？

愛する聖徒の皆さん、新年はさらに力強く新しいエルサレムを目標に走って行かなければなりません。神は私たちが力強く走って行くよう願われています。切に慕う心でみことばを聞いて悟って、行いで変えられる幸いな聖徒になるようお願いします。

短信

創造論発表会で「進化の誤り」指摘

WCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)の下にある創造宣教会の主催で「第8回創造論発表会」が「進化論の誤り」をテーマに昨年12月20日午後5時30分第6聖殿で開かれた。この日、物理学博士のキム・スンシク執事(WCDN創造科学分科長)が、進化論者が自然発生による生命の起源を説明するのに根拠とした、ユリー・ミラーの実験が誤りであると指摘した。続いて創造宣教会会長キム・ホヨン執事は「科学なのか、神話なのか？」というテーマでダーウィンが『種の起源』で主張した生物系統図の問題点を指摘して、創造論の正当性を検証した。

永登浦(ヨンドンポ)拘置所より 矯正福祉宣教会表彰される



昨年12月17日午後6時、「永登浦拘置所矯正委員と職員行く年を送る夜」

行事がクワ区ケボン駅ウエディングプリンスで開かれた。この日、万民中央教会の矯正福祉宣教会(会長イ・ドンニプ長老)が永登浦拘置所から收容者矯正・教化事業に功を認められて、表彰状を受けた。拘置所関係者は「万民中央教会の矯正福祉宣教会が收容者の誕生日祝い行事を後援して、收容者の心の安定と明るい生活に導き、矯正と事故予防に大いに寄与した」と語った。

マレーシア・マンミン出版社の特別販売行事



年末年始にマレーシアのマンミン出版社(社長チョン・デボラ)はステラ・ショッピングモールで1月3日までイ・ジェロク牧師の著書特別販売を行った。代表的説教集『十字架のこぼれ』『信仰の量り』『天国』『地獄』などの英語版(20冊)と中国語版(9冊)など、多国語に翻訳された図書を展示販売した。

「冬休み英語・数学教室」開催

昨年12月28日から中高生教会学校「2009年冬休み英語・数学教室」が第6聖殿と歓迎室で開かれた。1月29日まで5週間、月曜日から金曜日までの週5日で、科目は英語初級、英語中級、数学初級だ。英語講師は教会翻訳局のチョ・スンウォン、イ・サンウォン執事で、数学講師は現職の塾数学講師のオム・ウンジョン執事である。



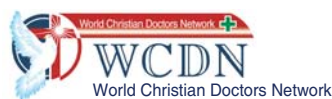
Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

発行人: イジェロク
編集者: ピン・グムソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市九老区九老3洞 235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

万民中央教会2009年の足跡

1月 JANUARY

- 1.2 仕事初め式
- 1.4 聴覚障害宣教会が聾啞者宣教会に名称変更
- 1.19 区域長教育
- 1.22 『御足の跡(上)』発刊
- 1.31 主の愛宣教会、旧正月を迎えて北朝鮮から脱出した人々を招待して行事を行い、創立5周年記念礼拝をささげる。

2月 FEBRUARY

- 2.5 連合聖潔神学校第17回卒業式
- 2.5-12 第66回 NRB 総会および展示会参加(アメリカ・ネブラス州 ナッシュビル)
- 2.15 2009年度 卒業礼拝
- 2.20 『御足の跡(下)』発刊



- 2.23-4.5 2回連続特別ダニエル祈禱会
- 2.24 マンミン宣教会第25回卒業式
- 2.24-3.5 フィリピン牧会者セミナーおよびハンカチ集会

3月 MARCH

- 3.4-7 マレーシア華僑牧会者交流会参加(チョン・グオン牧師)
- 3.5 奇跡のムアの甘い水9周年記念礼拝/ マンミン宣教会第26回入学式



- 3.22-5.31 リバイバル2009年全聖徒伝道大会
- 3.25-30 フィリピン国際ケーブルテレビ会議および博覧会参加
- 3.30 2009年度伝道師、長老公示

4月 APRIL

- 4.2 2009年度牧師公示
- 4.5 2回連続特別ダニエル祈禱会授賞式インドへの宣教師派遣式(オム・ジェボン伝道師)
- 4.9-7.10 マレーシア・ペナン聾啞者教会に宣教(ジ・チョンファン牧師)

- 4.12 イースター主日および聖餐式
- 4.14-29 パキスタン牧会者セミナーおよびハンカチ集会(キル・テシク牧師)
- 4.16 マンミン福祉タウン開園13周年および竣工記念礼拝



- 4.22-5.2 イ・ボンニム祈禱院長招聘 2009コンゴ連合聖会
- 4.29-5.13 WCDNウクライナ・キエフ第6回キリスト教医学学会準備のために出張

5月 MAY

- 5.3 子ども教会学校の子ども主日礼拝 / 芸能委員会所属パッションチーム発足
- 5.10 青年宣教会献身礼拝 / 親の日主日行事(主催: 勤士会)



- 5.17 アメリカへの宣教師派遣式(ビタリ・フィッシュバーグ博士) マンミン賛美アルバム第1集「牧者の心」発表 伝道師候補者(5名) 元老会決議通過
- 5.21-29 マンミン世界宣教訓練院(MMTC)第19期ロシア、フィンランド・ビジョントリップ
- 5.23-29 東京田端万民教会創立9周年記念礼拝
- 5.31 臨時事務総会(案件: 牧師按手追加候補者4名) 2008年度年間伝道賞授賞式

6月 JUNE

- 6.1 牧師候補者(13名) 総会按手請願
- 6.7 キム・ギョヒ牧師(台湾万民教会担任) 台湾国際神学院神学博士号取得
- 6.11 キム・ソングジャ執事(オルガン伴奏者) 第2回 パイプオルガン独奏会(場所: アキナス教会音楽研修所)
- 6.15-17 2009年子ども・中高生教会学校教師講習会
- 6.15-25 ベトナム牧会者セミナーおよび

- びハンカチ集会
- 6.19-27 マンミン世界宣教訓練院(MMTC)日本短期宣教
- 6.27 『霊、たましい、からだ(上)』発刊
- 6.28 マンミン聖書アカデミー上級クラス修了式
- 6.29-30 第19回教団定期総会および牧師按手式(21名)

7月 JULY

- 7.5 初穂の刈り入れ感謝主日および聖餐式
- 7.7-15 2010年度 WCDN第7回 イタリア国際キリスト教医学学会準備のために出張
- 7.12 2008年後半期伝道優秀者新しいエルサレムの鍵伝達式(32教区バク・ヨウウ執事) マンミン世界宣教訓練院(MMTC) 第19期修了式



- 7.20-8.1 MMTC第3回「十字架のこぼろ」ヨーロッパ(ベルギー)キャンプ
- 7.26-29 子ども教会学校、夏の聖書学校
- 7.28 ムアン海水浴場完工感謝礼拝
- 7.29-8.5 ペルー・アンデス山脈地域出張(イ・ジェホ牧師)



8月 AUGUST

- 8.3-5 全国男女宣教会、中国大教区、海外教区、夏のキャンプ(ムジュリゾート)
- 8.3-6 六つの連合宣教会、夏のキャンプ / 中高生教会学校、夏のキャンプ



- 8.12-19 ペルー・アンデス山脈地域出張(イ・ジェホ牧師)
- 8.16 イ・ジェロク牧師自叙伝『私の

- 人生、私の信仰』読後感想文コンクール受賞作文集『わが人生のとしび』発刊(韓国キリスト教新聞社)
- 8.30 男性宣教会総連合会主催「第9回聖句クイズ大会」予選

9月 SEPTEMBER

- 9.2-12 2009年マンミン聖地巡礼
- 9.6-7 2009イ・ジェロク牧師招聘イスラエル連合聖会
- 9.11-18 タイ・バンケ教会創立25周年記念礼拝およびハンカチ集会
- 9.18-25 名古屋、大阪、舞鶴万民教会創立記念礼拝およびハンカチ集会
- 9.20 2009年度任職礼拝 副牧師(13名) / 長老(17名) / 名誉長老(2名) 勸士(41名) / 勸士挨拶(1名) / 名誉勸士(4名) / 協同勸士挨拶(11名)
- 9.27 広報雑誌『マンミン』を『マンミン・トゥデイ』に改称して発刊 第9回聖句クイズ大会本選

10月 OCTOBER

- 10.9 創立27周年記念前夜行事およびGCN開局4周年祝賀行事
- 10.11 創立27周年記念礼拝および祝賀公演 「万民中央ニュース」を「万民ニュース」に改称し韓国語は毎週、日本語は月2回発行。マンミン賛美アルバム第2集「献身」発表
- 10.12 マレーシア・ペナン聾啞者教会に宣教(ジ・チョンファン牧師)



- 10.24-11.24 中南米5か国(グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラガ、ペルー)支・協力教会巡回訪問、セミナーおよびハンカチ集会(イ・ジェホ牧師)
- 10.25 タイへの宣教師派遣式(イ・ジェウオン、イ・スノク執事) アフリカ短期宣教師派遣式(ムン・シニョン牧師)
- 10.28-11.3 第6回ウクライナ・キエフ国際キリスト教医学学会

11月 NOVEMBER

- 11.1 第9回聖句クイズ大会授賞式
- 11.2-12.13 2回連続特別ダニエル祈

- 禱会
- 11.11 クリスマス新聞社事務室移転およびインターネット新聞創刊記念礼拝(説教: チョン・グヨン牧師)



- 11.11-19 アフリカ総会およびケニア・ナイロビ万民教会創立9周年記念礼拝
- 11.12 2010年度大学入試センター試験のための祈禱会
- 11.15 収穫感謝主日礼拝および聖餐式 『愛は律法を全うする』発刊
- 11.17-12.4 パキスタン支・協力教会牧会者セミナーおよびハンカチ集会
- 11.18-25 カナダ・カルガリー万民教会創立2周年記念および任職礼拝
- 11.21-25 飯田万民教会の福祉施設みつばオープンセレモニーおよびハンカチ集会
- 11.22 キム・ハング執事(ニシ・オーケストラ)インマヌエル聖歌隊指揮者任命
- 11.29 連合総会

12月 DECEMBER

- 12.6 機関総会
- 12.7 「2009老少和合敬老大フェスティバル」(説教: チョン・グオン牧師、特別賛美: セレム古楽宣教団、芸術宣教団、光の声重唱団)
- 12.8-23 インド・チェンナイ万民教会創立5周年記念礼拝および牧会者セミナーおよびハンカチ集会
- 12.11 クリスマスイルミネーション・ライトアップ式



- 12.13 マンミン聖書アカデミー上級クラス修了式 伝道師候補者(7名) 教会協議通過
- 12.24 クリスマス前夜行事 マンミン賛美アルバム第3集「天国」発表
- 12.25 クリスマス祝賀礼拝
- 12.27 事務総会
- 12.31 仕事納め式 新旧送迎礼拝

1. イ・ジェロク牧師招聘「2009年イスラエル連合聖会」



昨年のもっと大きい行事は、イ・ジェロク牧師を招いて行われた「イスラエル連合聖会」だった。福音が始まったところだが、イエス・キリストが人類の救い主であることを知らず、いまだにメシアを待っている国、イスラエル。昨

年9月6-7日、エルサレムICC(国際コンベンションセンター)でクリスタルフォーラム主催により開かれたこの聖会は、36か国から出席、33の放送局を通して220か国余りに8か国語で放送された。「イエス・キリストだけが唯一のメ

シア」と大胆に宣べ伝えたイ・ジェロク牧師は、説教後、いやしの祈りをした。いやされた人々が証しをしようと講壇の上に来て、列を作った。

イ・ジェロク牧師は2007年7月23日、ソウルを出発。主の働きに

習ってイスラエル北部から南部まで十二回にわたり、神の力あるわざを現わしながら聖潔の福音を伝えた。社会的に迫害されていたイスラエルのクリスチャンたちが自発的に連合して、このようなキリスト教の集会を開いたことは奇跡と言える。これまでの宣教を通して神の力を直接体験した教会がリバイバルし、元気づけられている証拠でもある。

特にイ・ジェロク牧師は聖会の時、乾期で深刻な水不足に困っていたイスラエルのために、雨を降らせてくださるよう神に祈った。その後、ふだん9月には雨が降らないのに、イスラエル北側から大雨が降り、中部からも雨の便りが聞かれた。また、もう一度祈りの依頼があり、10月4日、イ・ジェロク牧師はソウルで祈った。その翌日から二日間、イスラエルのあちこちに雨が降り、話題になった。この出来事をイスラエル最大の英字日刊紙エルサレムポストと、ヘブライ語の有力週

刊誌「コールハイル」が記事にした。また、アメリカで最も影響力のある50大教会を選定、発表する機関である「チャーチレポート」のホームページに「十字架のことば、地の果てにまで伝えられる」というタイトルでイスラエル聖会関連の記事が掲載された。

2. 新型インフルエンザも恐れられないマンミンの聖徒たち

昨年4月末、メキシコで発生した新型インフルエンザA(H1N1)が世界中に早く広がった。多くの人は感染を恐れて、集会や行事を敬遠したが、マンミンの聖徒たちは各種礼拝はもちろん、ダニエル祈禱会と地域の祈禱会にもいつものように参加した。「そのおきてをことごとく守るなら、わたしはエジプトに下したような病気を何一つあなたの上には下さない。」(出エジプト15:26) ✎

万民ニュースが選んだ万民中

2009年、神は本教会をすべての名にまさる主の教会として祝福してくださった。 1

というみことばどおり、マンミンの聖徒たちにはみことばどおり生きれば神が守ってくださるといふ信仰があるからだ。たまに新型インフルエンザにかかった人がいても、イエス・キリストの御名による堂会長イ・ジェロク牧師の祈りでいやされて、神に栄光を帰した。また、イスラエル連合聖会の時、イ・ジェロク牧師がイスラエルから新型インフルエンザが退くよう祈った後、毎日発生していた死亡者がイスラエルにいた八日間はなくなり、以後、感染者数が目立って減った。



力が現れるとき、多くの魂が生ける神のみわざを見て、聞いて、体験するので、まことの信仰を持つようになる。本教会では罪と悪に染まった終わりの時に、数多くの魂を救うための神の摂理のうちに、堂会長イ・ジェロク牧師を通して神の力あるわざが現れている。マンミンの聖徒たちはその力を体験しながら、信仰生活をしている。

虹は神が共におられることを象徴する(黙示録4:3)。1998年5月15日、本教会の上空に現れた太陽の周りを囲む丸い虹をはじめ、

去る12年間、全世界で丸い虹、二重、三重、直線、対照の虹など、多様な虹がよく現れている。

主な教会行事の時は、天気と気候まで調節された。毎年7、8月に開かれるキャンプは、一番暑い時にもかかわらず涼しい中で行われ、雨が降ってもよい時は降り、降っては困る時は降らなかった。また、霊の空間から出てきたトンボのおかげで、蚊やその他の害虫もいない快適なキャンプが楽しめた。どのキャンプ場にも聖徒の手、頭、肩などにそっと飛んできて止まる不思議なトンボはキャンプの幸せを加えてくれた。11月にあった「愛の越冬用キムチ配り」も、冬らしくない暖かい天気のもとに行われた。

4. 神が下さった「マンミンの賛美」

神が望まれる賛美は、真心と

全き信仰から湧き上がる賛美であり、世の風潮に染まらない澄んだきれいなメロディと歌詞の賛美である。堂会長イ・ジェロク牧師は、神に栄光を帰しながら賛美する人と、聞く人も御霊に感じて力に満たされる賛美と歌詞を与えてくださいと神に祈り求めた。御霊に感じているうちに、神はご自身でメロディと歌詞を与えられた。それが「主の告白」「牧者の心」「祝福の秘訣」「ビジョン」「天国」「神の恵み」などの80余曲だ。本教会の芸能委員会はこれらの曲で昨年、マンミン賛美アルバム第1、2、3集を発表した。海外の聖徒の要請で英語、中国語、日本語にも翻訳している。聖徒たちは神を愛する心でこれらの賛美を歌うと、闇が退いて問題が解決されて、祝福が臨んだと証した。

5. 国内外で繰り広げられた神の力のハンカチ集会

「神の力のハンカチ」が全世界を目ざめさせている。主のしもべや宣教師たちが聖徒を訪問したり集会を開くとき、イ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって祈って神の力が込められたハンカチで祈ると、様々な病気がいやされ、問題が解決されて、全能の神を体験した。

海外での集会も活発だった。マンミン祈禱院イ・ボンニム院長は、昨年4月25-26日、「2009年コンゴ連合聖会」を導いた。イ・ミギョン牧師は同2月フィリピンの首都マニラとカヴィテ州ダスマリニャス市で、12月にはインドのタミル・ナードゥ州ボンディチェーラーでハンカチ集会を導いた。✎



3. とどまることなく現れた神の力

「マタイの福音書16:20」に「そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしをもつて、みことばを確かなものとされた。」とあるとおり、神の

キル・テシク牧師は4月と11月の2回、パキスタンのラホール、カラチ、カシミール、サヒワール、ファイサラーバードで教会者セミナーおよびハンカチ集会を導いた。イ・ヒソン牧師は9月に名古屋、大阪、舞鶴で、11月にはカナダのカルガリーでハンカチ集会を導いた。イ・ソンチル牧師は6月、ベトナムのメコンデルタとホーチミンで、9月にはタイのバンケ、チャンライ、チェンマイでハンカチ集会を導き、どこでもいやしのみわががたいに現れた。

6. 単一教会で最大、9000余りの支・協力教会

本教会は神の祝福のうちに、単一教会としては最大の国内外9000余りの支・協力教会を持つようになった。これらを通して世界教区化をはかり、グローバル教会を目標としている。

圏別の国名は次の通りであ



る。アジア・中東圏は台湾、日本、中国、フィリピン、インドネシア、インド、パキスタン、モンゴル、ネパール、スリランカ、パキスタン、マレーシア、タイ、ベトナム、サモア、フィジー、イスラエル、エジプト、パレスチナなど。アフリカ圏はケニア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国、スーダン、タンザニア、エチオピア、ガーナ、ブルンジ、ルワンダ、ボツワナ、スワジランド、コートジボアール、南アフリカ共和国、ガボン、アンゴラ、リベリア、ナイジェリアなど。ヨーロッパ圏はフランス、イギリス、ドイツ、ベルギー、オランダ、フィンランド、ロシア、イタリア、ベラルーシ、エストニ

ア、タジキスタンなど。アメリカ圏はアメリカ、カナダ、ペルー、ホンジュラス、エルサルバドル、アルゼンチン、エクアドル、グアテマラ、コスタリカ、コロンビア、ボリビア、パナマ、チリ、ニカラグア、ベネズエラ、ウルグアイ、ブラジルなどである。

7. 24年、8,400日間、祈り続けてきたダニエル祈禱会

万民中央教会は1年中祈りの火が消えない。金曜を除く毎日夜9時-11時40分(土、日は11時まで)、マンミン祈禱院イ・ボンニ

ム院長が導く「ダニエル祈禱会」があるからだ。昨年11月2日から12月13日まであった「2回連続特別ダニエル祈禱会」の期間中、ダニエル祈禱会が400次を迎えた。これは、21日単位でテーマを定めて祈るダニエル祈禱会を400回したということであり、1986年から24年間、何と8,400日、休まず祈り続けたことを意味する。ダニエル祈禱会では、教会と魂の救い、堂会長イ・ジェロク牧師の働き、聖殿建築、主のしもべと働き人、宣教師、国と民族、自分自身の魂のためなど、全聖徒がともに主を呼んで祈ってきたので、数多くの答えを引き下ろした。

現在は401次の祈りがささげられている。この祈禱会には、GCNとインターネットで本教会と韓国の支教会および支聖殿、そして全世界のマンミンの聖徒が参加している。

8. 『霊、たましい、からだ(上)』ベストセラーに

自分探しの神秘的な旅、堂会長イ・ジェロク牧師の著書『霊、たましい、からだ(上)』が韓国の大型書店で宗教部門ベストセラーになっている。昨年6月26日に発刊されたこの本は、7月から今まで読者から愛されている。主のしもべと聖徒だけでなく一般の人にも反響が大きく、一般の大型書店とキリスト教書店で絶賛販売中である。

同書は人の構成要素である霊、たましい、からだ、聖書という「肉」の意味を明快に説明している。人間の根本とは何かを知りたい人が読んで自己発見をして、変えられている。✔



万民中央教会の12 2009年大ニュース

1年間、教会の働きに一線を画した12大ニュースを選んでみた。

『霊、たましい、からだ(下)』は今年前半期に出版予定である。

9. 全羅南道ムアンにマンミン海水浴場完工

昨年7月28日、ムアン・マンミン海水浴場の完工感謝礼拝をささげた。マンミン海水浴場はムアンの甘い水の泉があるムアン万民教会の近くに作られた。国家や地方自治体でない民間人が砂を敷いて海水浴場を作ったことで話題になった。マンミンの聖徒たちはムアンの甘い水を信仰によって飲んでつけ、視力が回復し、いろいろな病気がい



やされ、願いに答えられるなど、驚くべき体験をしている。この奇跡の現場を体験するために、国内外の巡礼客の足が絶えない。この海水浴場は蒸し暑い夏に巡礼客のための休養施設として作られた。

10. イ・ジェロク牧師の説教番組、HD放送製作開始

HDとはHigh Definitionの略で「高画質」を意味する。HD放送は縦横の比率が16対9の画面に200万画素を使用しているのので、既存のデジタル放送であるSD放送より2倍以上の高画質が得られる。小さいチリや汗のしずくまで見えるほど画質が優れている。本教会付設のマンミンテレビがHD放送製作を始めた。2012年、放送デジタル化を目の前にして、一昨年からHD放送に備えてきたマンミンテレビは、

昨年6月から堂会長イ・ジェロク牧師の説教番組をHDで製作した。マンミンテレビは高品質の番組を製作する努力とともに、今後も全面HD放送という目標に向かって、持続的にシステム改編を推進していく。

11. 「万民中央ニュース」が「万民ニュース」にタイトル変更、毎週発行

1987年5月17日に創刊された「万民中央ニュース」が400号を迎えて、教会創立27周年特集号からタイトルを「万民ニュース」に変え、隔週から毎週発行になった。これに伴い、日本語新聞は月1回から2回発行になった。これは、韓国の万民中央教会から世界の万民中央教会へと飛躍する教会規模に合わせた変化の一環である。これで本教会の聖徒のための教会情

報誌から、世界的な宣教トラクトへと成長する基盤が整えられつつある。

現在、世界教区化に歩調を合わせて、インターネットの万民ニュースと、日本語、英語、中国語、スペイン語、ロシア語、タミール語、フランス語、インドネシア語、ポルトガル語など13か国語の海外版を発行、海外宣教に大きい役割を果たしている。

12. マンミン聖地巡礼に380人参加

昨年9月1日から12日まで、380人のマンミン聖地巡礼団がイ・ヒソン牧師の引率でエジプト、イスラエル、パチカン市国、イタリアの4か国を11泊12日で巡礼した。途中、イスラエル連合聖会に参加して、感激の瞬間を味わった。巡礼期間中、神は終始良い天気にしてくださり、すべてが順調に進められた。現地のガイドたちは大人数なのに秩序を守る聖徒の姿を見て感心し、称賛を惜しまなかった。



2009年 日本支教会

1. すばらしい「いやし」と不思議な「霊的」体験

前田実隆牧師(横浜鶴見福音協会)



1月9日早朝、突然の腹痛におそわれ、救急車で病院へ運ばれて診断を受けると「大腸憩室症」で、腸壁の弱い部分に複数の孔があいている可能性があると言われました。電話でイ・ジェロク先生の祈りを受けると、まもなく春の心地良い暖かい日差しのような明るい光が、腹部の中心から静かにゆっくりゆっくり広がって、やがてからだ全体を覆って行き、その穏やかな光によって闇がまるで霧が消えるように去って行きました。神の愛とキリストの十字架の贖いの血潮に対する感謝がいっぱいになり、神が私に触れて下さったという、何とも言えない安どの喜びを感じました。その時、「いやされた」という信仰の確信が与えられ、次の日に検査を受けると、すべてが正常値と言われました。

2. 長野朝日放送で飯田万民教会放映



2月23日、飯田万民教会のキッズダンス(4才〜幼稚園部)、子どもワーシップ(小学生部)、パワーワーシップ(中高生部)、レインボー(バンド)チームが長野朝日放送の「ムッチュー夢中っ子」で「飯田万民ワーシップダンス教室」というタイトルで放映された。

3. アルコールの泥沼から引き上げてくださった神様

北村進(舞鶴万民教会)



私は酒が大好きで、2006年頃から特に

ひどくなり、「わしは飲んどらん。誰かがわしに飲ますんや」と、どなりちらしていました。今から思うと、私は悪霊にとりつかれていたのです。

昨年6月、舞鶴万民教会の内装工事の奉仕をしましたが、あまりの酒びたりの生活にキム・マルコ先生が繰り返し家庭を訪問して、ハンカチの祈りをしてくださいました。私は偶像を拝む家で育ち、母は霊媒師だったのです。妻もマルコ先生に出会うまでは、お寺など偶像崇拜に熱心でした。しかし、教会に来てまことの神様に出会ったのです。そして、今まで仕えてきた偶像が私たちのために何一つ良いことをしてくれなかったことにやっと気づきました。家の仏壇を燃やして片づけました。そして家には聖書と十字架を置きました。その翌日は空にきれいな丸い虹が現れました。そして2007年11月18日、妻は教会で洗礼も受けました。

2008年1月22日、車から降りる時に転んで、右腕を骨折して入院しました。手術そのものができない状態が続きました。手術をするためには骨をきれいに消毒しないとはいけません、骨に細菌がいていけないということでした。5月末に、妻は私の写真を持って、堂会長先生の祈りを受けにソウルの万民中央教会へ行きました。堂会長先生は愛をもって2回にかけて祈ってくださいました。

長い入院生活の間に、自分の体の中に染み込んでいたアルコールの毒が抜けていったのです。神様は私の意志では酒をやめることができないから、強制的に病院生活をして体の毒が抜ける時間を与えてくださったのです。退院してからは、酒が飲みたいという気持ちが自分の中からなくなったのです。感謝でした。私はもちろんのこと、家族にも平安が臨み、日曜日ごとに教会に行けるようになりました。

4. 舞鶴万民教会創立4周年記念礼拝



4月29日(水)、舞鶴万民教会が創立4周年記念礼拝をささげた。担任キム・マルコ牧師がメッセージを伝え、大阪万民教会のマリアズ賛美チームと舞鶴万民教会の聖歌隊の特別賛美で神様に栄光を帰した。

2004年4月から舞鶴に聖潔の福音の種が蒔かれ始め、2005年9月4日、おとな7名、子ども2名で舞鶴万民教会として開拓礼拝をささげた。万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師の時間と空間を超えた祈りで生後6か月の赤ちゃんが生き返る

という神の力あるわざほか、祝福されて答えられた聖徒たちによって、開拓して3年目に聖殿が建てられた。

5. 東京田端万民教会創立9周年記念礼拝および勸士就任礼



5月24日(主)、東京田端万民教会(担任・チョン・ギョング牧師)の創立9周年記念および勸士就任礼拝がささげられた。聖歌隊とグロリア賛美チーム、万民中央教会のシン・ウンギョン姉妹の特別賛美があった。講師チョ・デヒ牧師(万民中央教会副牧師)は「キリストに対するこの望みをいただく者」というメッセージで新しいエルサレムへの望みを加えた。この後、清水智恵勸士と都筑紀代子勸士の就任式があった。午後の創立特別ハンカチ癒し集会(使徒19:11-12)では、視力回復、膝、腰、目の痛み、帯状疱疹などがいやされて神様に栄光を帰した。

6. 旭川万民教会創立10周年記念礼拝



6月9日(火)に、イエス・キリスト旭川万民教会の創立10周年記念礼拝が行なわれた。山形万民教会のチャン・ガンソプ牧師を講師に「神様の力」というメッセージは、聖徒たちの信仰と力となった。また、旭川福音教会の山中智貴牧師の特別賛美で神様に栄光をささげた。多くの参加者があり、祝福の年にふさわしい恵みあふれる記念礼拝となった。

7. 今は主に会って幸せです

森本たい子執事(飯田万民教会)



2004年2月8日、二度目に主日礼拝に出席して、私の信仰生活が始まりました。ある日、体に異常を感じて、病院に行って検査をしたら、乳がんとわかりました。でも不思議なことに言葉に表せないほど平安でした。まだ信仰が弱かった私は、ユ・スングル牧師先生の祈りを受けて4月に手術を受けました。2004年7月、生きておられる神様を体験する機会が与えられました。転移を防ぐためにリンパ節を切除したので、腕がむくんで上げられない後遺症で苦しんでいましたが、ハンカチ集会の知らせを聞きました。堂会長先生の祈りを受けたハンカチで、ユ・スングル牧師先生から祈りを受けたとき、体が熱くなって、私も気がつかないうちに手を上げていました。「痛くない!!」と告白しました。ハレルヤ!!

8. 東京万民教会移転および創立1周年



7月5日(主)、東京万民教会が創立1周年記念礼拝をささげた。同教会は1周年を迎えて杉並区に移転したが、ここは飯田万民教会担任のユ・スングル牧師が東京宣教のビジョンを掲げて5年前、最初にハンカチ聖会を開いたところである。創立記念礼拝は、トリニティーと山下好美牧師の特別賛美に続き、講師ユ・スングル牧師が「農夫である神様の期待」(ヨハネ15:1-7)というメッセージを伝えた。

9. 牧会者を変えられると教会と聖徒に祝福

伊藤正明牧師(松本万民教会)



短期間に世界的な教会に飛躍したりパイパルの秘訣を学ぼうと、万民中央教会を訪問したとき、私はいろいろな面で感動とチャレンジを受けました。毎晩、多

教会のニュースと証し

くの方々が集い、夜の9時から12時までの祈禱会の熱い祈りに、そして何よりも堂会長イ・ジェロク牧師先生の説教の正確さと深さと広さに、目からうろこが落ちました。私が知っている悟りと知識は極めて小さいものにすぎなかったのです。「被造物である人間がどうして神様のみことばどおり生きられるだろうか?」と、この世と妥協し、罪と妥協して生ぬるい信仰生活をしている、みじめな自分を悔い改めました。

神様は、聖められた器を通して、ご自身の御業をなされます。今、毎日熱心に祈りつつ、実を結ぶ教会となるように奮闘しています。聖徒たちも、神様のみことば通り生きようと努め、祈りに力を尽くしています。

10. 2009年MMTC日本短期宣教

6月19日から27日まで、2009年MMTC日本短期宣教が実施された。10人が東京、



横浜、千葉県八千代市、茨城県鉾田市にある五つの教会を巡回し、路傍伝道と伝道集会を行った。

6月22日はアップル訪問看護ステーションを訪問、韓国舞踊と宣教チームの賛美、レクリエーションで韓国を知らせ、神の愛を伝えた。

11. 日本全土に満ちよ、聖潔の福音の熱い流れ!

「日本福音化教職者セミナー」開催

7月6日(月)~8日(水)、長野県安曇野市にある「あずみのグレイスチャペル」において「日本キリスト福音化の集い」「信州リバイバル宣教会」共催の「日本福音化教職者セミナー」が開かれた。

講師ユ・シングル牧師は3回にわたって「霊・魂・肉」教育を行なった。このような霊



的な講義に初めて触れた教職者は、熱い感動とともに生きて働くみことばの素

晴らしさを体験した。また、夜は安曇野の山の中に入り、個人の祈りをささげた。聖霊様の臨在の中で悔い改めに導かれたある教職者は、ぜひ堂会長先生にお会いして、祈りを受けたいと告白した。

12. マンミン中高生夏のキャンプに参加して

熊谷澄香(飯田万民教会)



本教会の中高生夏のキャンプに参加することが決まりましたが、しっかりテスト勉強ができるようにと6月の飯田ハンカチ癒し聖会で堂会長先生のハンカチの祈りをもらいました。

6月29日~7月2日にテストがありました。朝早く起きて2時間勉強しただけでテストを受けた時もありました。テスト範囲も終わっていないのにテストを受けた教科もありました。そんな状態だったのに、点数は全体的に上がり、順位もクラスで6位だったのが2位になり、学年では25位から6位になりました。

8月2日、いよいよ夏のキャンプに参加するために韓国へ出発しました。トンボがたくさん自分のところに来てくれたり、夜空を見るときに、神様がいろんなものを見せて下さいました。今回参加した賛美祭で人気賞を頂き、また、運動会では思いもかけず、MVPを貰うことができました。

13. 夏のキャンプに参加して

小林京子執事(大阪万民教会)



2009年マンミン夏のキャンプに参加できた。虫や蚊などどこへ行ったのか、一匹も見えない。霊の空間を破って集まってくる無数のトンボ。会場全体に飛び交って皆を喜ばせてくれる。何とも不思議! 神様は何でもできるんだという思いが私から離れない。涼しい風があらからこちらから吹く。太陽の周りにも月の周りにも美しい七色の虹も出してくださった。まさしく

この世に現れた天国だ。

メッセージ中、現在取り扱われている部分について、聖霊様がそれを明け渡すように迫られた。押し問答しながら、主に明け渡す決断をして心の重荷を置いた。祈禱院長のメッセージの後の祈りで、その罪をこれから完全に捨てる決断をした。また、帰国してから自分自身の心の変化に気づいた。

14. 飯田万民教会の福祉施設みつばさオープン

11月23日、飯田万民教会(担任:柳承吉牧師)付設の万民デイサービスみつばさのオープニングセレモニーがあった。1部は山下好美副牧師の司会で、柳承



吉牧師の挨拶、飯田市社会福祉協議会の山内章圭会長の祝辞、チョ・デヒ牧師の祝福祈禱があった。2部は飯田万民教会の賛美チームと本教会のイ・ミョンスク勸士の韓国伝統舞踊で神様に栄光を帰した。今後、この福祉施設では霊肉ともにリハビリが必要なお年寄り、障害を持つ子どもたちなどに仕えて、主の愛を伝えていく。

信仰の告白とハンカチの祈りで2年3か月なかった息子の眉毛が生えました!!

中野かの子(大阪万民教会)

ハレルヤ! 私は大阪万民教会の中野かの子聖徒です。

現在、中学1年生(13歳)の息子が初めて主イエス様のことを聞いて信じたのが、小学校3年生、2005年の春でした。しかし、その直後に軟式野球部に入部したため、安息日を守れない日が続きました。そこで、心配してくださった金マルコ牧師先生と金モニカ伝道師先生が自宅に來られ、家庭礼拝を捧げるようになりました。そのおかげで息子は、教会には行くことができなかつたのですが、みことばに親しむようになり、賛美を口ずさみ、信仰を持つ子どもに成長しました。

2007年2月頃、突然、本人が私立の中学校に入りたいと言い、そのために進学塾に通うようになりました。ところが、その塾の学びが難しく、宿題の負担もあり、日々時間に追われ、学校の友人と遊ぶ時間もなくなり、ストレスが増しにたまるようになりました。

それで、なんと持病のアトピー性皮膚炎がひどくなって、それが全身に広がり、体を掻きむしり、体から汁や血が出るようになりました。特に目の周りの痒みがひどくて、眉毛もかきむしるようになり、見る見るうちにフサフサしていた両方の眉毛は、1本もなくなっていました。そのような状態が2007年の春から2年3か月も続いたのです。つい今年1月になって、晴れて安息日を守る恵みが息子にやってきました。念願の私立中学校に合格が内定したからです。それで、毎主日、モニカ伝道師

先生が息子のアトピーと眉毛がいやされるように教会で祈ってくださいました。

息子が中学校に入学して3か月経った2009年の6月、いつになく落ち込んで帰宅しました。

何かあったのかと聞いてみると、眉毛がないことで面識のない隣のクラスの男子生徒に中傷された、と打ち明けてくれました。

それを聞いて私は、第1テサロニケ5:18「すべての事に感謝し

なさい」というみことばに従って、この事を感謝しようと息子に言い、共に祈ることを勧めました。すると息子は信仰で告白したのです!「この事を感謝します。」そして、もう一度大きな声で「その子も感謝します」と告白したのでした。

すると、なんとその2週間後、あれほどひどかったかゆみも消え、どんどん皮膚が新しくなり、2年3か月なかった眉毛が、写真のように奇跡的にフサフサ眉毛に変身したのです!

ハレルヤ! 感謝の信仰告白が奇跡を生みました!

いつも私たちのために祈りくださる堂会長イ・ジェロク先生に心から感謝しています。そして、いつの時も愛を持って、私たち親子を導いてこられた金マルコ先生、モニカ伝道師先生に感謝いたします。いつもいのちのみことばで私たちの魂を養ってくださる牧者、堂会長先生に心から感謝します。みことばとハンカチの祈り、そして信仰の告白で、驚くべきみわざを現してくださった神様に心から感謝し、ほめたたえます! ハレルヤ! すべての栄光を神様にお帰します。



「私たちは祈って祈って、また祈ります。」

祈りで神に献身している人々、本教会の「祈りの供え物連合会(指導教師イ・ヒソン牧師、会長ウィ・ソンスン勸士)を訪れた。

一日6時間以上を祈りで生きている人々なので、何か聖なる雰囲気を感じていたが…。特別なことといえば、「よく笑う」ということだった。

「祈るから若くなるみたいです、ハハハ！」祈る方たちなので、やはり活力があふれているようだ。そしてもう一つ、その口からは証しがあふれる。「祈るだけでパンが出てくるんですか?」「昼夜祈ってばかりいたら、家族の面倒はいつ見るんですか?」と聞く人々に、祈りの供え物の会員たちはこう言う。

「毎日数時間、神の国と聖徒のために祈ると、家庭が和やかになって、物質的祝福を受けました。何より自分の魂に幸いを得ている祝福を受けました。」

「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」(マタイ6:33)とあるとおりだ。しかし、何より感謝なことは、教会が困難に直面したとき、祈りで教会を守ったことや、海外連合聖会と教会の大小の行事が無事に行われて、神に大いに栄光をささげたことだと、祈りの供え物の会員たちは異口同音に告白する。

◆ 一日中祈ったら大変ではないですか?

長い時間祈ることは楽でなさそう。しかし、祈りの供え物の会員たちは天国の報いを望んで、感謝と喜びをもって使命を果たしている。信仰があるので、彼女たちの顔にはきらきら幸せがあふれる。

祈りで神との対話を終えた後、昼食と機関の集いで会員どうしが持つ交わりの時間は、信仰のエネルギー源となる。

彼女たちは祈りだけでなく、あらゆる分野で忠実な働き人である。平日は祈りに全力を注ぐが、主日は各宣教会の食堂で仕え、献金委員や案内委員、または親交室の厨房奉仕、聖歌隊などで忠実に働いている。特に、病気の聖徒のための昼食の食堂奉仕は祈りの供え物の会員が担当する。

このように信仰の強い会員たちの一つの希望は「父なる神様の恵みと牧者の愛に何で報いようか? 早く御霊の歩みに入って、さらに全く聖められた者になって、もっと善の祈りの香で教会と牧者の力になりたい」ということである。



祈りの供え物連合会ウィ・ソンスン会長(一番前)と会員たちが切に教会と堂会長と主のしもべ、民族福音化と世界宣教、聖徒など、神の国のために祈っている。

◆ 忠実! 祈りの供え物の24時間

現在、祈りの供え物の会員は特戦隊20人、会社員会員17人、一般会員などを含めて計171人である。月曜日から金曜日まで午前の祈り会(10時30分-12時)、午後の祈り会(1時-3時)、そして夜には毎日ダニエル祈禱会に参加する。一般会員たちは午前中に祈り会、あるいはマンミン祈禱院イ・ボンニム院長が導くいやしの集会に参加する。病人たちの祈りと賛美を助けて、肩に手をのせ、またはからだを抱えて切に祈ると、心の奥から涙が出てくる。思いきり聖徒たちと一緒に祈ると、聖霊に満たされて、上から喜びが与えられる。

昼は、機関別に仲良く座って、教会食堂で食事する。食後の一杯のコーヒーはなぜあんなにおいしいのか、疲れはどこかに吹飛ばす。午後1時が近づくと、また祈りの場所に三々五々集まる。午後3時まで、本格的に堂会長と主のしもべ、聖殿建築、各種礼拝のリバイバル、教会財政、祈禱院、民族福音化と世界宣教、施しなどのために具体的な課題をもって祈る。会社員会員は退勤した後、午後8時から8時40分まで祈る。

◆ 祈りの供え物の組織はどうなっていますか?

祈りの供え物連合会は生年月日によって計19機関に分かれ、機関別に各宣教会と教会の各種付設機関を任されて、祈りで支えている。たとえば、1機関は教務局、事務局、WCDNのために祈り、2機関は編

集局、翻訳局、マンミン国際神学校のために、3機関は教会学校、マンミン宣教会、4機関は海外宣教、海外教区、通訳部など、19の機関が教会の各部署と宣教会を担当して祈っている。

この他にも様々な病気、家の売買、資格試験、家族の救いなど、個人的な祈りの依頼にも、とりなしの祈りで助けている。

祈りの供え物の会員は年頭に、または3か月に1回、部署や宣教会機関などを訪問して、祈りの課題を預かる。その時はいつも心が満たされる。誰かに力と勇気を吹き込んで、神の国と義が実現できるとわかって、感動が押し寄せるのだ。

◆ 祈りの供え物になるには?

会員の年齢は33才から55才までである。しかし、特に96才のパク・イエスン勸士は堂会長イ・ジェロク牧師の配慮で名誉会員として祈り続けている。

祈りの供え物連合会の会員になろうとすれば、資格条件がある。まず、執事以上の務めを持っていないといけない。信仰がなければならぬからだ。そして、制約なしに祈ろうとするなら、家庭が福音化されていなければならない。また、本教会に5年以上出席して、教会の全般を把握し、牧者を愛して魂たちへの熱い愛がなければならない。また、神の国のために忠実な働き人でなければならない。

祈りの供え物の会員たちはみな固く団結して、一つになっている。心を合わせて火

のように祈るだけでなく、会員間の友愛が深く、家族と変わらない。だから、祈りの供え物になることは御霊の歩みに入り、さらに完全に入る近道ではないだろうか。聖徒の皆さんの大いなる関心と祈り、支援をお願いする。今後、祈りの供え物は特戦隊会員300人を含めて全部で700人の会員を目標にしている。もっと多くの会員が集まって一緒に祈る日を望み、今日も祈りの供え物全会員は熱い祈りの火を燃やしている。

祈りの供え物とは?

イギリスの孤児の父ジョージ・ミューラーは、5万回の祈りの答えとして2000人を越す孤児たちを養った。また、母モニカの涙の祈りによってアウグスティヌスが新生した。

本教会も、日夜主を呼んで祈る祈りの供え物連合会の献身によって、大いにリバイバルできた。祈りの供え物とは、祈りで神にさげられた人々を意味する。1982年開拓当時、故アン・エジャ勸士とイ・ジョン勸士、チェ・ソング勸士など、神が召し集められた6人で始まった。彼女たちは国と民族、教会と聖殿建築、世界宣教のために祈ることを自分のいのちのように思った。当時、イ・ジェロク伝道師を通して現れるいやしのみわざを見て押し寄せた病人たちのために、彼らが完治するまでとりなしの祈りをし、必要な時には家庭を一軒一軒訪問して、信仰を蒔いた。今も変わらず、祈りの供え物連合会の全会員は、神の国のために主を呼んで祈っている。

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげている。

- ・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- ・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市中東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- ・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- ・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- ・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町
5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/>
- ・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- ・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

- ・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-277-0178
- ・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- ・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- ・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276

- ・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587
- ・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177
- ・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- ・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843